

2020 年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科アドミッション・オフィス (AO) 入試問題

スポーツ科学受験筆記試験

『出題の意図・評価ポイント』

スポーツ科学に関する筆記試験

※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。

※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。

なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、2020 年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

問題 I

設問 1

出題文の読解力を問う問題である。数式の前までの文章を理解し文脈から相当する適切な語句を解答できるかを問う問題である。

設問 2：

ゴルファー（選手）たちが競技成績を向上させるために、これまでの取り組んできたことについて、問題文の下線（あ）に相当する文までの文脈から理解し（理解力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

設問 3：

打ち出すボール初速度を向上させるための方法を問う問題である。運動やスポーツにおいてはそれらの向上や改善を図るよう求められることが多く、対象の種目は異なっても課題となることは存在し、選手（プレーヤー）であった者であれば誰もが経験することである。それら経験において、それぞれの課題にどのように向き合い解決を図ってきたかが問われる問題でもある。

設問 4：

ゴルフクラブの反発係数が規制された以降も飛距離が伸びつづけた原因について、4 つの図（図 2-5）および問題文の下線（い）の文までの文脈から理解し（理解力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

設問 5：

競技成績を高めるためのゴルファー（選手）の取り組みとゴルフクラブを製作・提供している側のゴルフクラブ改良についての実態を理解し（理解力）、運動やスポーツにおいて選手（プレーヤー）と使用される用器具との関係について、自分の意見を積極的に論じることができるか（思考力・表現力）を問う問題である。

問題Ⅱ

設問 1 :

2018 年と 2009 年のわが国における成人人口を対象としたスポーツ実施率の調査結果をもとに、定期的実施層（週 1 回以上）、非定期的実施層（年 1 回～月 3 回）、非実施層（月 3 回未満）の三層の各割合を年代別に示した図を提示し、2018 年の定期的実施層（週 1 回以上）における年代別傾向を質問した。その傾向に関する解釈と共に、的確に記述できるかを問う問題である。

設問 2 :

上記同様に、2018 年と 2009 年のわが国における成人人口を対象としたスポーツ実施率の調査結果をもとに、定期的実施層（週 1 回以上）、非定期的実施層（年 1 回～月 3 回）、非実施層（月 3 回未満）の三層の各割合を年代別に示した図において、2018 年と 2009 年の相違点と共に、その変化についての理由や背景について質問した。相違性とその理由についての解釈と共に、的確に記述できるかを問う問題である。

設問 3 :

2018 年の 20 代、30 代の定期的実施層（週 1 回以上）を今後増加させていくための効果的な方策についてのアイデアを質問した。特定の年代層に対する運動・スポーツ促進の対し、自分の意見を積極的に論じることができるか（思考力・表現力）を問う問題である。

問題Ⅲ

運動・スポーツ分野の基本的用語に関する知識と共に、文脈からの理解力を問う問題として、以下の用語を一覧表として示し、各文章の空欄に該当する用語を選択する設問形式で行った。